

第6回蓮田市政策研究会議会議録

開催日時	平成26年10月17日(金)		
	午後3時00分	開会	午後5時30分 閉会
開催場所	蓮田市役所 304会議室		

会議経過(議事の要旨)

1. 開会

新井代表挨拶

2. 会議

1) シティセールスについて

● ふるさと納税記念品贈呈事業について

① 記念品贈呈者の範囲・対象者

- ・蓮田市民が市外へ寄附をすることの抑止となるよう対象者に市民を加えるべき。
 - ・蓮田市がふるさと納税に取り組むことを市民にPRし、蓮田市のPR・シティセールスにつなげるためにも市民を対象に加えるべき。
 - ・蓮田市の記念品の内容について市民からの問い合わせが多いことを考慮し、対象者に市民を加えるべき。
 - ・寄附者を多くし、少額の積み重ねも重要となるため対象者に市民を加えるべき。
 - ・シティセールスは、市外への発信であり、対象者は市外のみとする。
 - ・収支バランスを考慮し、市内外の寄附者で記念品の差別化も可能では。
- ◎市内・市外を問わず、記念品贈呈の対象者とする。

② 記念品贈呈の寄附金の対象額、回数について

- ・多種多様な記念品の品ぞろえができるのか。
 - ・寄附金額を低く設定(5,000円以上)し、寄附件数を多く集める。
 - ・10,000円以上の寄附へ誘導できる記念品の品ぞろえが必要では。
 - ・10,000円以上で記念品を1つとし、記念品贈呈の限度額をあらかじめ定めておく。
 - ・回数の制限は初めから設けず、問題が起これば制限をかけることを検討していけばよいのでは。
- ◎回数の制限は設けず、10,000円を基本に寄附金額に応じて記念品の組み合わせを複数用意する。

③ 代行業者の利用について

- ・他市町で代行業者を利用して寄附額が増えたという理由を聞いている。
 - ・代行業者を利用することで、職員では思いつかない記念品を開拓できるかもしれない。
 - ・代行業者を利用せず記念品を贈呈しているところでは、臨時職員を雇ったり、専門職員を置いたりして、人件費がかかっているとも聞いている。
- ◎シティセールスの向上、新たな記念品の開拓、記念品贈呈事務の軽減等から代行業者に委託する。

④ クレジット納付について

- ・代行業者を利用するのであれば、多くの代行業者は専用のウェブサイトを使って寄附を集めるので、ウェブサイトから直接寄附ができるようにクレジット納付をできるようにした方が良い。
- ◎寄附申し込みの簡略化からクレジット納付を導入する。

⑤ 記念品の相当額について

- ◎上記でいただいた意見を参考に、収支バランスを考えながら検討していく。

2) 人口増加策について

● 最近開発された住宅団地におけるアンケート結果をまとめている。

回答があった方のうち、20代の方が4件、30代の方が28件、40代の方が7件、50代の方が4件だった。今後、集計を行っていきたい。

● 社会増となっている先進地を視察し、今後の研究の参考としたい。

10月30日(木) 吉川市、流山市

● 庁議において中間報告を行う。政策研究会議の取り組み状況等を報告する。

データの収集などメンバーにお願いしていく。